

油脂製品価格改定について

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 新妻一彦）は、2022年7月1日納品分より、家庭用油脂製品と業務用油脂製品の価格を下記の通り改定することといたしましたのでお知らせします。

2020年後半以降、世界的に旺盛な油脂需要や、油脂製品の主原料である大豆・菜種の生産地での高温乾燥・減産を主な要因として、穀物・植物油価格は上昇してきました。そのため大豆油、菜種油をはじめとする油脂の原料コストが上昇し、これまで昨年3月以降、合わせて180円/kg以上、3,000円/缶以上、計5回の価格改定をお願いしてまいりました。

そして2月のロシアによるウクライナへの侵攻により、穀物・植物油価格ならびに原油をはじめとする資源価格は更に上昇しました。また紛争の長期化により、依然歴史的な高値圏で価格が推移しております。穀物・植物油の主要生産・輸出国であるウクライナ・ロシア、資源の主要生産・輸出国であるロシアからの供給量減少は、それぞれ世界的な需給を引き締める要因となっております。

原料価格高に円安の進行も加わり原料コストが上昇、また原油等のエネルギー価格高により製造・物流コストも上昇し、油脂コストの上昇が避けられない状況となっております。

このような状況の中、最大限経営努力により上昇するコストの吸収に努めておりますが、下記の通り価格改定せざるを得ないことをご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 実施時期

2022年7月1日納品分より

2. 対象商品、及び改定価格（家庭用・業務用商品）

汎用油※	60円/kg以上
オリーブ油	160円/kg以上
こめ油	90円/kg以上
ひまわり油	90円/kg以上

※菜種油・大豆油・コーン油・パーム油等

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当：赤松
TEL:03-3257-2042